

みんなが楽しめるレクリエーション

～手話歌をつくる～

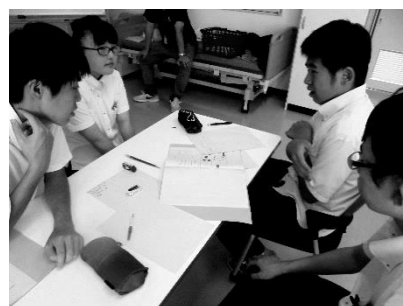
3年 専門教科
サービスコース
「地域カフェに向けて」

ねらい

- 調べたい手話単語が載っている本を、見つけ出すことができる。
- 手話辞典等を参考にして手話の動きや意味を理解し、高齢の方や障がいのある方にわかりやすく説明できる。

学 習 展 開

- ① 教科担当教員が手話歌作成の目的と手順について説明、生徒で相談して曲選びや歌詞の分担をする。
- ② 図書館内の掲示を見たり、学校司書や司書教諭に尋ねたりして、必要な手話単語が載っている本を探し出す。
- ③ 歌詞やリズムに合うように、手話歌を考える。
- ④ 手話の動きや意味が高齢の方、障がいのある方、みんなに伝わるよう説明の仕方を考え、文や絵で記録する。



どんな曲だと楽しめるだろう？



地域の方とレクリエーション

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 教科担当と相談して、事前に関連図書を取り寄せる。
 - ・様々な生徒の実態に対応できるよう、難易度等を変えて幅広く資料を準備する。
 - ・動画が有効であることを考慮して、手話辞典のDVDを準備する。
- 生徒の思いや実態に応じて、選書を支援する。
- 司書教諭、学校司書はTTとして授業に入り、調べ学習を支援する。

★指導のポイント

- ◆図書を探すときには、まず掲示を手掛かりとするように促す。
- ◆8類「言語」の資料に加え、介護、レクリエーションの資料を提示し、関連付けて学習できるようにする。

資料

「今日からはじめるやさしい手話」DVD付（全日本ろうあ連盟/学研プラス）
「写真・イラストで見る手話じてん」（こどもくらぶ/岩崎書店）
「新日本語—手話辞典」（日本手話研究所/全日本聾唖連盟）
「歌でおぼえる手話ソングブック」（新沢としひこ他/鈴木出版）
「別冊家庭画報 レクリエ 2018 特別号」（世界文化社） ほか